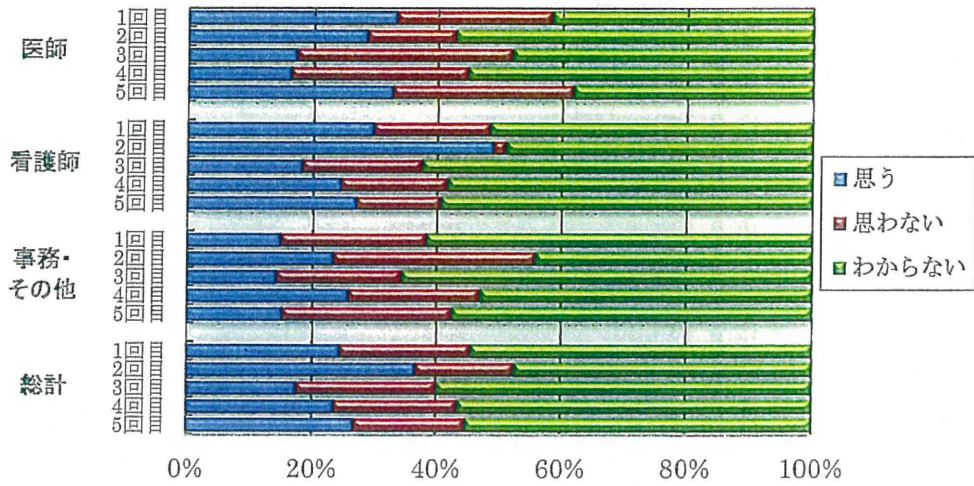
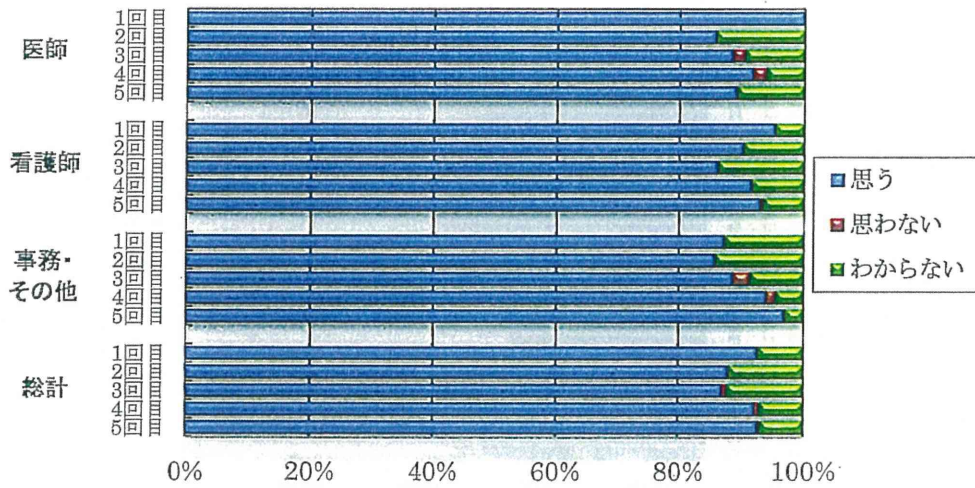


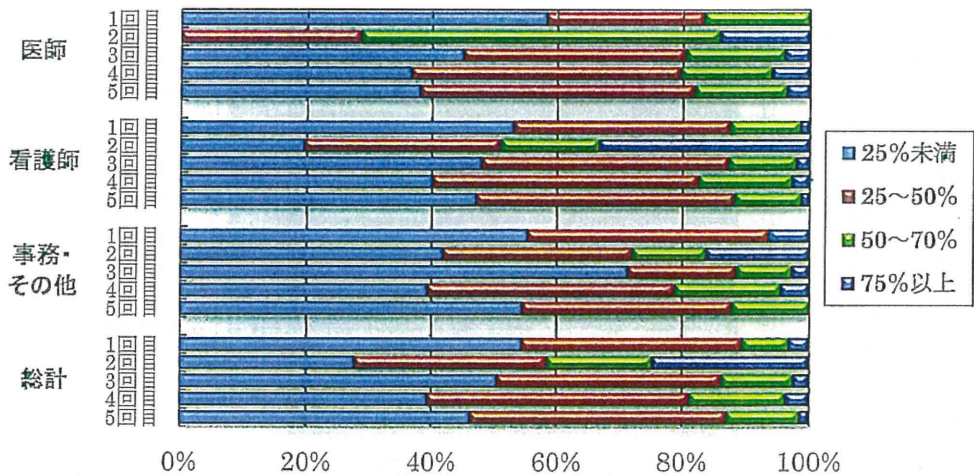
○ 臓器提供は、家族の悲しみを癒す助けになると思うか？



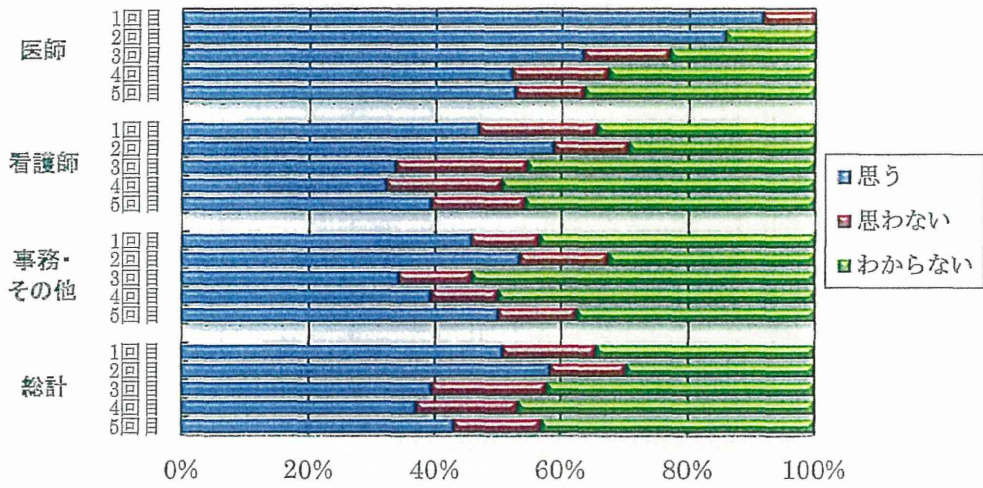
○ 臓器提供によって、他の人の命が救われると思うか？



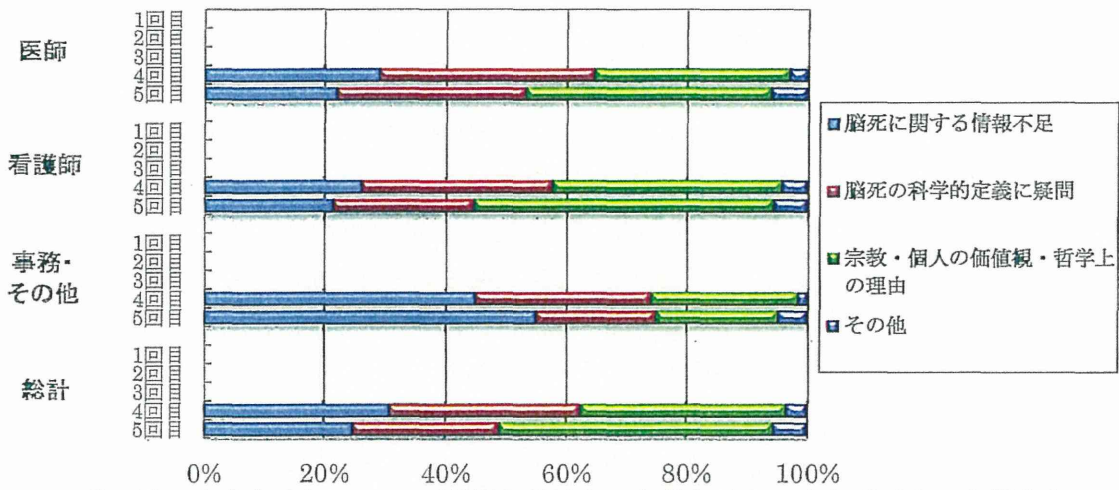
○ 日本では、何%の人が臓器提供を認めていると思うか？



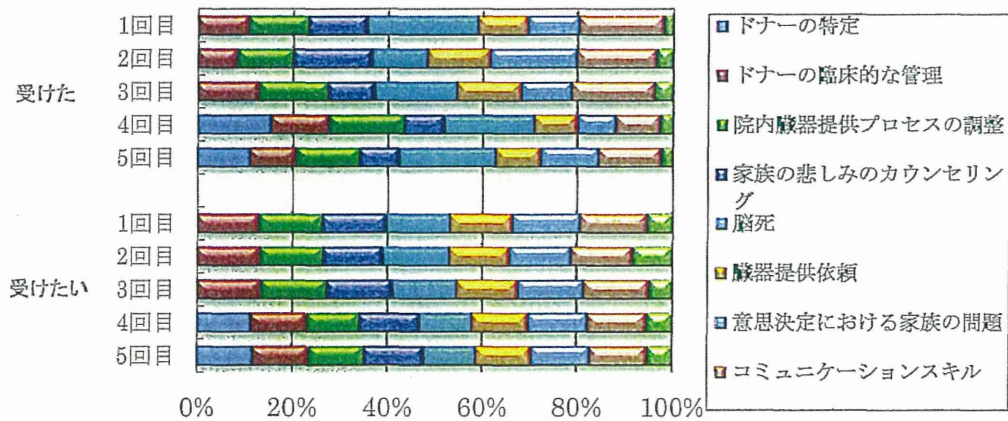
○ 脳死は、死の妥当な判定方法である。



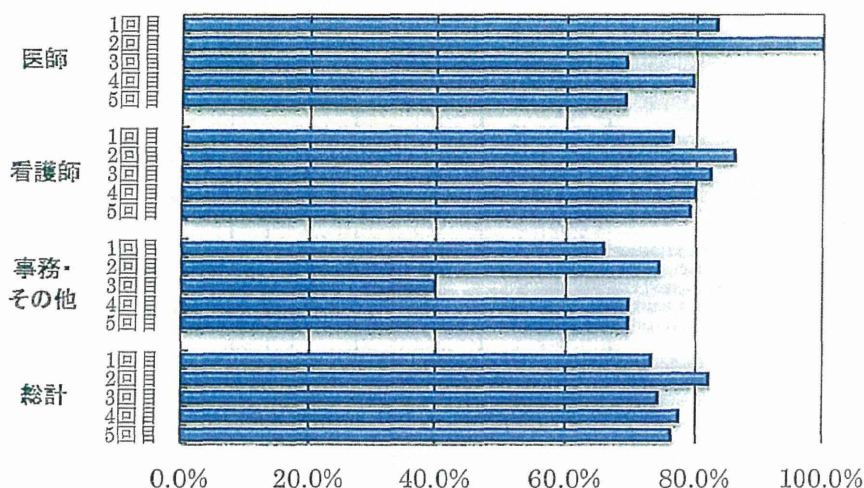
○ 前問で「思わない」「分からない」を選んだ場合、その理由は？



○ 次のような点について、研修を受けたことがあるか、また受けたいと思うか？



○ 公式(業務としての)研修を受けてみたいか？



3) 結果から得られた特徴(傾向)など地域情報

聖マリアンナ医科大学病院における平成25年度のHASの結果から、特筆すべき特徴は得られなかった。人事異動も含め毎年大幅に人員が入れ替わっているため、HAS実施後に研修等を行っているものの、データとして特徴(傾向)が表在化しにくいことを示している。DAPの実効性を適正に検証するためには、HAS→施策(研修を含む)→HASという一連の流れを短いスパンで行うことが求められている。

外因死症例の対応策として、平成22年から、県内3大学の法医学教授に協力を要請しコンサルト体制を導入し症例発生時、警察との連絡調整を含めた円滑な対応を可能としている。しかし、実際のコンサルト件数は前年度同様低値であり、活用されているとは言い難い。この体制は症例発生時可能な限り速やかに起動させることで、視点の異なる医療者および捜査機関の間を繋ぎ負担を減らしつつ、司法優先の原則を堅持していくことを目的としている。起動件数が伸びない主たる要因として、県Co体制が定まらないうず、離職と採用を繰り返しているため、このシステムを熟知し積極的に活用するところまでスキルアップできないことが挙げられる。他方、神奈川県警察との症例検討会については年2回定例開催しており、通算で10回を超えた。名称も「臓器移植に関する関係機関との症例検討会」に改め、神奈川県行政、健康財団主催とし、県内4医科大学、神奈川県警察を交えて実際の症例を基に検討を行うより実践的かつ専門的な内容に変遷してきている。

3. 各施設におけるポテンシャルドナーの見出し方(方法・特徴など)

1) ドナーディテクション、およびそれに準じる方法の照会と成果

北里大学病院では、三次救急外来受診患者に「臓器提供に関する調査票」を配布している。(表1参照)北里大学病院における分析としては、調査票配布の際の手続きを一部変更したことで、配布率が僅かに増加したこと、意思表示カードの所持率、免許証・

保険証への意思表示の割合は大きな変化が無く、平成25年内閣府が行った世論調査で、「意思表示を記入している12.6%」に比較しても明らかに低いと言えるが、改正法施行後、1件/年の割合で脳死下臓器提供が発生していることが挙げられた。(施行前は0件)

	平成25年度(4月～12月)		昨年度(4月～1月)	
	人数	%	人数	%
三次救急外来患者数	1,583人		1,956人	
配布数	1,119	配布率 70.7	1,304	66.6
回収数	1,065	回収率 95.2	1,221	93.7
意思表示カード所持	19	1.8	21	1.7
免許証・保険証への意思表示の有無	25	2.3	26	2.1
専門職員の介入希望	81	7.6	110	9.0

表1) 三次救急外来受診者に配布している「臓器提供に関する調査票」集計結果

① 北里大学病院におけるポテンシャルドナーの見出し方

方法

- (1) 三次救急外来受診者対象に「臓器提供に関する調査票」を配布

- 内容 ① 臓器提供意思表示カード等所持の有無
 ② 免許証・保険証への意思表示の有無
 ③ 専門職員の介入希望の有無

記入内容及び、今後の方針を電子カルテへ記載

①から③が「あり」の場合は、移植医療支援室の院内ドナーコーディネーターに連絡が入り、対応する。

- (2) 救急ミーティング参加(月～金)

救急患者状況を把握しポテンシャルドナーの可能性がある場合は、主治医に治療方針の確認、調査票記入内容や家族の状況について情報共有し、選択肢提示の可能性について検討する。

- (3) 救急・ICU病棟ラウンド(状況によってPICUや一般病棟も行う)

患者状況の確認、現場看護師との情報交換

結果

平成25年度ポテンシャルドナー数	75人
内訳	
調査票より	38人
コーディネーター吸い上げ	30人
選択肢提示	2人
家族申し出	4人
その他	1人
介入あり	53人
介入なし	22人

② 聖マリアンナ医科大学病院においては、北里大学病院とは異なり救命救急センター外来受診患者全員に調査票を配布することはしていない。受付には、保険証、特定疾患カードと並列に意思表示カードの見本を提示し、所持していた場合に提出していただくよう説明している。ポテンシャルドナー抽出にあたっては、臨床現場の救急医の判断に左右されるため、標準化した対応がなされているかどうかについては懐疑的にならざるを得ないが、移植医療支援室に連絡が入った場合は個票を作成し、フローシートに基づき経緯を注視していくことになる。今年度を含め、角膜提供が多いのは、腎泌尿器外科医による積極的な選択肢提示が行われていることが大きな要因となっている。

2) 施設規模別の体制整備があればその紹介と実効性の考察

北里大学病院・聖マリアンナ医科大学病院ともに 1,000 床を超える大規模施設である。

北里大学病院では、平成 18 年に移植医療支援室と院内 Co の設置により、院内体制整備がそれまで以上に進めやすくなった。さらに平成 23 年には初の脳死下臓器提供を経験して以降、1 件／年の割合で発生しており、現場のスタッフだけでなく病院執行部や大学関係者の意識が高まり、組織として安全に臓器提供を進める事の重要性が認識されている。前述した三次救急外来受診患者を対象に行なっている「臓器提供に関する調査票」は、臓器提供の意思抽出のツールとして有効に機能しており、ポテンシャルドナー情報数の半数以上を占めている。また、病院施設を中心とする医療圏内における住民の臓器提供に関する意識を把握する手がかりともなりうる。院内ドナー Co は、臓器提供に関わる職種を中心に構成しており、脳死判定等に必要な知識の勉強会や、事例をもとに患者・家族の身体的、心理的変化を振り返り、どのタイミングで意思確認を行なった方が良いのか、家族や現場のスタッフに必要な支援は何か等、具体的な検討を重ねており、現場の看護師や医師にも参加してもらうこともある。これらにより、現場の Co のスキルアップがはかれるだけでなく、他の Co についても、現場の理解を深めることが出来る。今年度は一般病棟における選択肢提示のあり方を検討し、医師への勉強会や選択肢提示を試みた。今後現場スタッフの声を分析することで、課題をさらに明らかにしていきたい。また、「終末期の意思決定支援における倫理」の勉強会では、一般病棟からも大勢の参加があった。臓器提供は、あくまで終末期医療の中の一つの選択肢である。救急および終末期医療を充実させることで、臓器提供の意思についての感度を高め、意思を尊重できる土壌を育てることが重要である。しかし、実際の臓器提供には専門的スキルも必要で、安全に臓器提供ができるよう、key となる人材を育成したり、現場をサポートする体制を強化する移植医療支援室の存在は大きいといえる。(別添資料参照)

聖マリアンナ医科大学病院の移植医療支援室については、4 施設の関連病院における臓器提供症例発生時の支援も行うことになっている。DAP 手法に基づき院内体制整備を行い、移植医療に係る委員会、院内 Co を設置し、大学生命倫理委員会における審議体制構築も終えている。他方、移植医療に関わりのない部署では、仮に脳死下臓器提供が

行われたとしても情報は共有されないこともままたり、情報の周知徹底は、移植医療に限らず大きな課題となっている。聖マリアンナ医科大学関連施設である聖マリアンナ横浜市西部病院のような500床規模の中規模施設における体制整備は、大学病院のような大規模施設と同様の手法では無理が生じる。今年度の提供実績が示すように、聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院では積極的に選択肢提示が行われ実績が向上しているが、移植医療支援室もなく、委員会、院内Co設置もされていない。増加する臓器提供症例に対応するべく、今年度、多職種複数部署から人選しサポートチームを編成した。500床規模の中規模施設では、マンパワーを含めた医療資源に限りがある一方で、数名の中心的役割を果たすスタッフによってマニュアルを整備することで組織横断的な活動が行いやすい利点がある。施設規模や施設の現状に応じたアプローチを選択し病院開発を行うことは、秋山 政人新潟県臓器移植Coが、「テーラーメイドの院内体制整備」という言葉で示しているように全国共通であると考えられる。現状と乖離した手法を選択すれば無理が生じ、システムとならないばかりか、一部スタッフの疲弊だけを生じるリスクになることを念頭に院内体制整備に取り組むべきであると考えます。

4. 行政の介入状況

神奈川県行政の従前から消極的姿勢に変化が見られ始めた。定期的な人事異動の影響は免れないものの、現在の担当者は、年1回定例開催している「臓器移植に関する会議」を実効性のある会議に変えようとしている。行政の基本姿勢である法に規定されている事項以外に踏み込んでくることはないものの、県内で開催する移植医療に関する公開講座等には参加いただけるようになった。腎・アイバンク所属の県Coを2名配置しているもののなかなか定着しないことも変化を生じた要因とも考えられる。逼迫している県財政に大きな変化は見られず、移植医療に対して踏み込んだ予算編成ができないことは前年度同様であるものの、前向きに取り組んでいただけるようになったことは歓迎したい。

5. 各都道府県からの提言や問題提起

1) 県Co体制について

平成25年度は、かながわ腎アイバンク推進本部所属2名、聖マリアンナ医科大学病院所属2名の計4名体制であった。かながわ腎アイバンク推進本部所属Coについて、前年度同様1名が退職し1名補充採用する等、定着が難しい現状がある。臓器、角膜幹旋の両方とも行っている。活動範囲は神奈川県全域であり、今後の方針として1名を臓器幹旋メイン、1名を角膜幹旋メインで対応していくこととしている。業務多忙時はお互いをサポートする体制をとる予定だが、経験不足に起因する業務に不慣れな部分が多く、また教育は喫緊の急務であるものの、経験と併せ不十分であることから業務のすみ分けを行うには至っていない状況である。

日本臓器移植ネットワークを中心として、都道府県Coの教育にどのように展開していくか、また、Coのスキルをいかに平準化できるかは、県民のみならず国民の権利負託に応える意味でも重要である。

2) クオリティマネジメントという考え方

いろいろな場面で「医療の質」という言葉が聞かれるようになった。臓器提供における「医療の質」は、すなわち安全管理と直結すると考える。聖マリアンナ医科大学病院において、臓器提供症例発生時に移植医療支援室を中心に院内 Co が場面に応じて介入し、その専門性を活かして安全かつ適正に臓器提供を行えるよう活動している。しかし、前述したように院内 Co は全員が兼務者であり、リスクヘッジによる負担軽減を目的としていることから、発生から提供に至るすべてのプロセスで活動することはない。院内 Co が臓器提供の一連の流れをコントロールし管理することは不可能であり、限界があることを認識しておく必要がある。他方、外部者である都道府県 Co や JOTCo を考えた場合、一連の臓器提供プロセスを把握しすべての場面で活動することが求められている反面、医療機関個々の内情やスタッフとの関係性を踏まえた細かいコーディネーションを行うには無理が生じる。院内 Co の活動を掌握することに加え、都道府県 Co および JOTCo とも情報共有を図りながら一連の臓器提供プロセスをマネジメントするクオリティ・マネージャーと呼べる人材が求められている。北里大学病院および聖マリアンナ医科大学病院の現状に照らした場合、未完ながらも移植医療支援室がその役割を担っている。部署の所掌業務とするか、個人の業務として位置づけるかは医療機関の内情に合わせていくことになるが、いずれの場合においても人材教育・養成は必須である。また、スタッフの個人的負担に依存しないよう、システムや体制整備を継続的に進めることも併せて必要である。

3) 行政との良好な関係構築

県内 4 大学だけではなくいずれの施設においても、マンパワーを含めた医療資源は無限ではない。提供施設とはいえ、一切の補助もないまま移植医療に医療資源を費やすことには医療機関の経営的視点からも抵抗が生じる。

神奈川県では、県内移植施設が「臓器提供・移植を考える神奈川の会」として、市民公開講座開催等普及啓発活動に取り組んでいる。前述したように行政担当者も参加するようになり、今後、発展させていければ官民一体の活動として展開可能と考えられる。現状では移植医を中心とした構成のため、臓器提供に焦点を当てた活動がやや弱い。救急医や脳神経外科医といった提供側の医師を巻き込んだ活動が求められる。一般市民に対する普及啓発活動の必要性は言うまでもないが、併せて医療者に対する教育もまた肝要である。当研究を通じて、新潟県、北海道等国内各地域の先駆的な取り組みを知るとに至り、神奈川県においても地域的な枠組み構築が必要である。複数施設が参加している「臓器提供・移植を考える神奈川の会」を基礎に、NPO 法人化した組織として活動することでより幅広い活動が可能になるのではないかと考えている。

6. DAPに関連する学会発表、紙面掲載などの実績報告

【学会発表】

- 1) 平成 25 年 6 月 第 26 回日本脳死・脳蘇生学会総会・学術集会 (東京)
「移植医療支援におけるリスクマネジメント～特に提供側～」(小野 元)
- 2) 平成 25 年 7 月 第 22 回日本腎不全外科研究会 (新潟)
「グリーフケアと移植」: ランチョンセミナー (小野 元)
「ドナーアクション (ドナーアクションプログラム: DAP) が提供側に与える影響について」(小野 元)
- 3) 平成 25 年 9 月 第 48 回 日本移植学会総会 (京都)
「関連病院における院内体制整備」: ワークショップ (吉野 茂)
- 4) 平成 25 年 10 月 第 78 回 日本泌尿器科学会東部総会 (新潟)
「臓器提供体制と家族ケアについて」(小野 元)
「グリーフケアと移植」: 臓器移植推進活動 (小野 元)
- 5) 平成 25 年 10 月 第 41 回 日本救急医学会学術集会 (東京)
「臓器提供における角膜提供時の問題点」(小野 元)
- 6) 平成 25 年 10 月 7th Asian Conference on Emergency Medicine (東京)
Is organ donation accepted in Japan? -Relation between the emergency care and organ donation- (小野 元)
- 7) 平成 26 年 3 月 第 45 回 日本臨床腎移植学会 (奈良) (参加予定)

【著書】

- 1) 小野 元
【腎移植における新しい展開】 【腎保存と臓器提供推進活動】
臓器提供と家族へのグリーフケアの大切さ
腎と透析 75 (1) : 109-112 (平成 25 年 7 月 1 日発行)
- 2) 小野 元
【臓器移植の現状と今後の展望】 臓器提供推進活動におけるグリーフケアのあり方
医薬ジャーナル 49 (9) : 2184-2187 (平成 25 年 9 月 1 日発行)
- 3) 翻訳
小野 元
脳死-概念と診断、そして諸問題
① 臨床的問題 18 妊婦の脳死: 203-206
② 臨床的問題 19 脳死における法律上の課題: 207-212 (平成 25 年 1 月 15 日発行)
- 4) 中村 晴美
SmileyNurse No.34 2013, 10 P10-13 羊土社
「Hop・ステップ・キャリアアップ 臓器移植コーディネーター」

5) 中村 晴美

臨床看護 臨時増刊号 Vol.39, No.12 2013, 10 P1750-1753 へるす出版

救急外来だからこそ実践したい患者と家族のメンタルケア

「CASE Q&A 脳出血で意識レベルJCS300の50代、女性。本人が臓器提供を希望し、意思表示カードを所有していた場合の家族ケア」

6) 吉野 茂

腎移植・血管外科 Vol.25 No.2 2014 特集：腎移植におけるチームワーク

献腎ドナーの安全管理—院内システム構築とリスクマネジメント—

(平成26年3月発行予定)

【資料】 平成 25 年度 北里大学病院活動概要

<移植医療支援室および院内ドナーコーディネーター（以下 Co）の設置と主な活動>

- ・移植医療支援室連絡会議（2回／年）：提供（救急）側と移植側の関係者で構成
- ・移植医療講演会（1回／年）

平成 25 年度テーマ

「小児脳死下臓器提供における課題と現状 ～現場の不安を紐解く～」

静岡県立こども病院 植田育也先

12月19日（木）17：30～ 参加者 86名

- ・三次救急外来における「臓器提供に関する調査票」による意思抽出
- ・救急・ICU病棟 Co と連携して調査票の回収、Co への連絡の流れについて検討
- ・一般病棟での選択肢提示の取り組み
脳神経外科、神経内科医師に対し説明会実施。病棟コーディネーターと連携しポテンシャルドナーの抽出、医師との選択肢提示についての検討実施。
神経内科が共通で診療にあたっている北里大学東病院看護部への説明会（心停止後の眼球提供への対応について）実施。
- ・院内ドナーCo 連絡会（9回／年）
看護師 12名（支援室 2、救急・ICU系 3、小児 1、一般病棟 3、手術室 1、夜勤専任 2）
他職種 6名（薬剤師、臨床検査技師、臨床工学技士、放射線技師、MSW、医師）
看護科長 1名参加。 計 19名
主に調査票の集計結果、ポテンシャルドナー情報と介入結果報告、各種研修会の案内と参加報告、体制整備に関する検討の他、以下のような症例報告や勉強会を行なった。
内容によって病院内全体や関連部署にも案内し、参加してもらっている。

症例報告・検討会

「脳死下臓器提供報告

—家族の意思決定支援と専任・兼任コーディネーターの連携を考える— 支援室 Co

「2例目 脳死下臓器提供時の対応」 手術室 Co

「POST CPA 患者への介入事例」 救急病棟・支援室 Co

「18歳未満の選択肢提示の実際」 支援室 Co

「終末期官寺・家族への意思決定支援と看護の実際

終末期に関わる看護師のジレンマ～」 小児病棟 Co

「一般病棟での終末期患者への意思確認の課題」 一般病棟 Co

「終末期における選択肢提示のタイミングと最終意思確認」 支援室 Co

勉強会

- 「組織提供適応基準」 組織移植コーディネーター
- 「臓器提供の概要と院内コーディネーターの役割」
神奈川県臓器移植コーディネーター 田海美子
- 「院内臓器提供の流れと役割」 支援室 Co
- 「危機的的患者家族とのかかわりとチーム医療について」 夜勤専任 Co
- 「脳死判定に影響を与える薬剤」 薬剤師 Co
- 「患者中心の終末期を支える意思決定支援の倫理
ー脳死臓器移植における問題にふれながらー」 北里大学 齋藤有紀子
- 「小児臓器提供における意思決定支援とグリーフケア」
群馬県臓器移植コーディネーター 稲葉伸之

・臓器組織提供における体制整備

- 新病院移設及びに向けたマニュアルの見直し作業と机上シミュレーション
- 調査票及び臓器提供の意思抽出に関する記録の整備
- 臓器搬送における民間ヘリコプター導入に関する NW と関係機関と病院担当者の打ち合わせおよびヘリポートの現状確認
- 夜勤専任（看護管理者）Co の対応内容についての検討
- 一般病棟窓口への臓器提供意思表示カードの設置
- 「救急医療現場におけるクオリティマネジメントセミナー」参加
- 各種研修会の案内および申し込み等事務手続き
- 小児の臓器提供に関する体制整備
- 被虐待の可能性否定に関する小児虐待防止委員会及び倫理委員会の体制見直し
- 他施設見学（静岡県立こども病院）の準備（3月実施予定）
- 院内のレシピエントコーディネーターや組織コーディネーターとの連携

・院外普及啓発活動

- 市民まつり（相模原桜まつり）、腎移植懇談会および市民公開講座の協力、FM 放送参加による広報活動
- 群馬大学医学部付属病院
- 医療安全講演会「病院組織としての臓器提供を考える」講演および
シミュレーション参加

・その他

- 神奈川県「臓器移植に関する関係機関との症例検討会」への参加
- 「臓器提供・移植を考える神奈川の会」市民公開講座への参加及び協力
- 日本臓器移植ネットワーク東日本支部手術室研修支援

脳死下臓器提供検証会議用書類作成補助

移植に関連した施設内外からの問い合わせ対応

他施設見学者受け入れ

支援室コーディネーターによる、CPA 等で救急外来に搬送された患者家族への終末期
支援の試み

2013年

情報公開		未公表		未公表
	横浜市民病院	神奈川県内の 病院	聖マリアンナ 医科大学 横浜市西部病院	関東甲信越地方 の病院
通算	206例目	209例目	211例目	216例目
年齢	50歳代	成人	20歳代	成人
性別	女性	男性	男性	女性
原疾患	くも膜下出血	くも膜下出血	蘇生後脳症	頭部外傷
意思表示の有無	家族承諾	家族承諾	家族承諾	家族承諾
提供の契機	主治医からの 選択肢提示	家族からの 申し出	家族からの 申し出	家族からの 申し出
提供日	1月13日	2月9日	2月28日	4月27日
提供施設	横浜市民病院	川崎市立 川崎病院	聖マリ西部病院	北里大学病院
提供臓器	心臓	-	心臓	-
	肺	肺	肺	-
	肝臓	-	肝臓	-
	膵・腎	-	膵・腎	-
	腎臓	腎臓	腎臓	腎臓①
		眼球		

未公表			
神奈川県内の 病院	昭和大学 藤が丘病院	心停止下	心停止下
217例目	234例目		
40歳代	40歳代	60歳代	60歳代
女性	男性	男性	男性
低酸素脳症	低酸素性脳症	くも膜下出血	脳出血
保険証	家族承諾	未記入のカード 家族承諾	家族承諾
家族からの 申し出	家族からの 申し出	家族からの 申し出	家族からの 申し出
5月4日	8月25日	8月27日	10月9日
昭和大学 藤が丘病院	昭和大学 藤が丘病院	聖マリ西部病院	横浜総合病院
心	心	-	-
-	肺	-	-
肝臓	肝臓	-	-
膵・腎	膵臓	-	-
腎臓	腎臓	腎臓	腎臓
		眼球	

2013年

No.	登録	区分け	摘出部位	警察介入	性別	年齢
1	後期高齢者証	意思表示	角膜切片	緑警察署	男	75.8
2	選択肢提示	死後	眼球	宮前警察署	女	93.5
3	後期高齢者証	意思表示	角膜切片	旭警察署	女	88.0
4	家族申し出	死後	眼球		男	48.4
5	選択肢提示	死後	眼球		男	94.9
6	保険証	意思表示	眼球		女	57.0
7	意思表示カード	意思表示	眼球		男	34.3
8	家族申し出	死後	眼球		女	65.6
9	家族申し出	死後	眼球		男	83.1
10	角膜登録者	角膜登録	眼球		男	84.0
11	選択肢提示		角膜切片	緑警察署	女	85.2
12	選択肢提示	死後	眼球	旭警察署	女	86.3
13	選択肢提示	死後	角膜切片	旭警察署	女	95.7
14	意思表示カード 免許証	意思表示	眼球	宮前警察署	女	44.8
15	家族申し出	死後	角膜切片	座間警察署	女	60.0
16	意思表示カード	意思表示	角膜切片	大和警察署	男	48.9
17	意思表示カード	意思表示	角膜切片		男	76.1
18	意思表示カード	意思表示	角膜切片		男	78.8
19	意思表示カード	意思表示	角膜切片	茅ヶ崎警察署	女	52.0
20	家族申し出		眼球		女	71.4
21	保険証	意思表示	角膜切片		男	84.8
22	選択肢提示		眼球	旭警察署	女	88.8
23	意思表示カード	意思表示	眼球		男	76.6
24	家族申し出		角膜切片	旭警察署	女	92.2
25	意思表示カード	意思表示	角膜切片		男	73.8
26	保険証	意思表示	眼球	旭警察署	男	35.3
27	家族申し出		眼球	高津警察	女	87.6
28	家族申し出		眼球		男	60.1
29	選択肢提示		眼球		男	69.7

30	角膜登録		角膜切片		男	78.5
31	角膜登録		眼球		女	85.3
32	角膜登録		角膜切片		女	78.5
33	保険証		眼球	相模原署	男	47.7
34	角膜登録		眼球	瀬谷警察	男	90.4
35	角膜登録		角膜切片		女	56.5
36	角膜登録		眼球		男	84.8
37	選択肢提示		眼球	瀬谷警察	女	34.7
38	家族申し出		眼球	瀬谷警察	女	41.1
39	選択肢提示		角膜切片	瀬谷警察	女	83.1
40	意思表示カード		眼球	宮前警察署	男	63.3
41	意思表示カード		角膜切片	磯子警察署	女	43.8
42	家族申し出		眼球	相模原南署	男	79.6
43	家族申し出		眼球	麻生警察署	男	63.8
44	家族申し出		角膜切片	栄警察署	男	48.3
45	家族申し出		眼球		男	86.3
46	家族申し出		眼球	旭警察署	男	84.5
47	家族申し出		眼球		男	78.0
48	選択肢提示		角膜切片	泉警察署	男	63.9
49	選択肢提示		眼球		女	64.9
50	家族申し出		眼球		女	18.9
51	家族申し出		眼球		女	64.6
52	選択肢提示		角膜切片	旭警察署	男	86.4
53	選択肢提示		眼球		男	51.7

聖マリアンナ医科大学病院における移植医療の歩み

～平成 25 年度分 抜粋版～

平成 25 年

- 4/2 第 66 回 院内コーディネーターWG 開催
- 4/3 臓器提供者発生（腎泌尿器科病棟） 65 歳女性 膀胱腫瘍
（家族より申し出）眼球提供
- 4/4 入職者オリエンテーション「当院における移植医療の現状」講義 （中村 Co）
院内体制整備に係る協議（聖マリアンナ横浜市西部病院）（吉野副委員長）
- 4/9 移植医療支援室ミーティング
- 4/13 第 6 回日本整容脳神経外科研究会（長野県） （小野副室長）
演題「頭蓋骨骨欠損に対するカスタムメイド人工骨を用いた頭蓋骨形成術の有用
性と問題点」
- 4/16 第 65 回 移植医療支援室運営委員会
- 4/17 臓器移植検討委員会 （力石室長、移植医療支援室 2 名）
- 4/18 組織移植コーディネーター連絡会 （中村 Co）
- 4/24 臓器提供発生（横浜市西部病院） 70 歳男性 原疾患不明
（医師のオプション提示）家族の総意が得られず
- 4/26 臓器提供発生（腎泌尿器科病棟） 83 歳男性 肺炎
（家族より申し出）眼球提供
- 5/7 第 67 回 院内コーディネーターWG 開催
- 5/10 臓器提供発生（腎泌尿器科病棟） 79 歳男性 膀胱癌
（医師のオプション提示）家族の総意が得られず
- 5/13 移植医療支援室ミーティング
- 5/17 都県コーディネーター連絡会 （中村 Co）
- 5/19 臓器提供発生（横浜市西部病院） 85 歳女性 CPA 蘇生後
（医師のオプション提示）眼球提供
- 5/20 臓器提供発生（救命センター） 87 歳男性 心肺停止
（医師のオプション提示）80 代の角膜は使用頻度が低い為、ご家族辞退
- 5/21 第 66 回移植医療支援室運営委員会
- 5/23 臓器提供発生（横浜市西部病院） 86 歳女性 心疾患(致死性不整脈)
（医師のオプション提示）眼球提供
- 5/26 川崎フロンターレ「ファン感謝デー」 啓発活動
（力石室長、櫻井 Co、川野、移植医療支援室運営委員会委員 1 名、院内 Co 6 名、
かながわ腎アイバンク 3 名）

- 5/27 臓器提供発生（横浜市西部病院） 95歳女性 心肺停止
（医師のオプション提示）眼球提供
臓器移植検討委員会 （力石室長、移植医療支援室2名）
- 6/4 臓器提供発生（救命センター） 79歳男性 脳出血
（医師のオプション提示）家族の総意が得られず
臓器提供発生（救命センター） 44歳女性 心肺停止
（医師のオプション提示）眼球提供
第68回 院内コーディネーターWG開催
- 6/7-8 日本脳死・脳蘇生学会総会・学術集会（東京都） （小野委員長）
演題「移植医療支援におけるリスクマネジメント～特に提供側～」
- 6/10 移植医療支援室ミーティング
- 6/14 組織移植コーディネーター連絡会 （中村 Co）
- 6/18 第67回移植医療支援室運営委員会
- 6/19 日本臓器移植NW 都道府県臓器移植Co研修会（東京都） （院内Co1名）
- 6/21 第10回 臓器移植に関する関係機関等との症例検討会（神奈川県総合医療会館）
（力石室長、小野委員長、吉野副委員長、中村 Co、向井法医学教授、法医学講師、看護部4名）
- 6/21-23 第58回日本透析医学会（福岡県） （移植医療支援室1名、院内Co1名）
- 6/22 臓器提供発生（腎臓病センター） 76歳男性 腎盂癌
（医師のオプション提示）眼球提供
- 6/26 臓器提供発生（横浜市西部病院） 24歳男性 交通外傷によるCPA
（医師のオプション提示）家族の総意が得られず
第1回神奈川県院内Co研修会 （中村 Co、院内Co8名）
- 6/27 臓器提供発生（救命センター） 33歳女性 縊頸によるCPA 蘇生後
（家族の申し出）脳死での提供希望あるも、急変し提供に至らず
- 7/2 第69回 院内コーディネーターWG開催
- 7/5 臓器提供発生（横浜市西部病院） 28歳男性 一酸化炭素中毒によるCPA 蘇生後
（医師のオプション提示）業務上過失致死傷害罪の可能性が高い為
- 7/6 第22回日本腎不全外科研究会（新潟県） （小野副室長、移植医療支援室1名）
演題「グリーンケアと移植：ランチョンセミナー」
演題「ドナーアクション(ドナーアクションプログラム：DP)が提供側に与える影響について」
- 7/9 臓器提供発生（救命センター） 87歳男性 心肺停止
（医師のオプション提示）退院翌日にCPAとなった為
立教大学「移植医療を通じて日本社会とキリスト教社会を考える」講義（中村 Co）
- 7/16 第68回移植医療支援室運営委員会

- 7/18 日本臓器移植ネットワーク連絡会（東京都）（中村 Co）
- 7/19 生命倫理委員会臓器移植・脳死部会（小野委員長、吉野副委員長）
- 7/22 臓器提供発生（横浜市西部病院） 88歳女性 心肺停止
（医師のオプション提示）眼球提供
- 7/23 厚生労働科研費関連会議（北里大学病院）（吉野副委員長）
- 7/29 膵臓移植検討委員会（力石室長、移植医療支援室1名）
- 7/31 聖マリアンナ医科大学東横病院 職員学習会
（力石室長、小野副室長、中村 Co、院内 Co6名）
- 8/6 臓器提供発生（腎泌尿器外科） 73歳男性 前立腺癌
（医師のオプション提示）家族の総意が得られず
第70回 院内コーディネーターWG 開催
- 8/9 臓器提供発生（横浜市西部病院） 92歳女性 心肺停止
（医師のオプション提示）眼球提供
- 8/18 臓器提供発生（横浜市西部病院） 96歳女性 CPA(窒息)
（医師のオプション提示）家族の総意が得られず
- 8/19 臓器提供発生（横浜市西部病院） 35歳男性 CPA(腎不全)
（医師のオプション提示）眼球提供
- 8/23 臓器提供発生（救命センター） 87歳女性 CPA 蘇生後
（家族の申し出）眼球提供
- 8/24 臓器提供発生（横浜市西部病院） 95歳女性 心肺停止(DNAR)
（医師のオプション提示）家族の総意が得られず
- 8/26 臓器提供発生（横浜市西部病院） 60歳男性 くも膜下出血
（医師のオプション提示）腎臓・眼球提供
症例発生時のヘリ搬送に関する協議（神奈川県警察本部）（吉野副委員長）
- 8/28 臓器提供発生（横浜市西部病院） 69歳男性 癌
（医師のオプション提示）眼球提供
- 9/3 第71回 院内コーディネーターWG 開催
- 9/5-7 第49回日本移植学会総会（京都府）
（吉野副委員長、中村 Co、移植医療支援室1名、院内 Co6名）
- 9/10 第69回移植医療支援室運営委員会
- 9/15 明治神宮球場（ヤクルト×阪神戦） 啓発活動
（院内 Co2名）
- 9/18 昭和薬科大学実習学生「移植医療の現状」講義（中村 Co）
- 9/19 臓器提供発生（横浜市西部病院） 90歳男性 心室細動
（医師のオプション提示）眼球提供
- 9/26 都県コーディネーター連絡会（中村 Co）

- 10/1 第72回 院内コーディネーターWG 開催
- 10/7 膵臓移植検討委員会 (力石室長、移植医療支援室1名)
- 10/8 第70回移植医療支援室運営委員会
- 10/11 組織移植コーディネーター連絡会 (中村 Co)
- 10/13 臓器提供・移植を考える神奈川の会 市民公開講座 (神奈川県横浜市)
テーマ「～移植と再生医療～」
(力石室長、小野副室長、中村 Co、移植医要支援室2名、院内 Co 4名)
- 10/15 臓器提供発生(横浜市西部病院) 41歳女性 心肺停止
(医師のオプション提示) 眼球提供
- 10/16-17 第72回日本脳神経外科学会学術総会 (神奈川県横浜市) (小野委員長)
演題「急性期血行再建術の新たな展開 血栓改修デバイスの導入によって適
応・治療成績は変わったか」
演題「脳卒中発症後の頭蓋骨骨欠損に対する人工骨使用の問題点」
演題「慢性硬膜下血腫における「脳卒中」を示す症状について」
- 10/17 都県コーディネーター連絡会 (中村 Co)
- 10/18-19 第78回日本泌尿器科学会東部総会(新潟県) (小野委員長、吉野副委員長)
演題「臓器提供体制と家族ケアについて」
演題「グリーフケアと移植：臓器移植推進活動」
- 10/21 膵臓移植検討委員会 (力石室長、移植医療支援室1名)
- 10/21-23 第41回日本救急医学会総会・学術集会(東京都)
(小野委員長、中村 Co)
演目「臓器提供における角膜提供時の問題点」(小野委員長)
- 10/23 昭和薬科大学「移植医療」講義 (力石室長、中村 Co)
- 10/25 7th Asian Conference on Emergency Medicine. (東京都) (小野委員長)
演題「Is organ donation accepted in Japan? 「Relation between the emergency
care and organ donation」
- 10/26 臓器提供発生(横浜市西部病院) 83歳女性 CPA(窒息)
(医師のオプション提示) 眼球提供
- 10/31 第2回神奈川県院内 Co 研修会 (中村 Co、院内 Co 8名)
- 11/1 腎移植座談会(東京都) (移植医療支援室1名)
演目「腎移植患者診療・看護の現状および課題と取り組み」
厚生労働科研費関連協議(北里大学病院) (吉野副委員長)
- 11/3 臓器提供発生(横浜市西部病院) 86歳女性 CPA 蘇生後(誤飲)
(医師のオプション提示) 摘出医の調整できず
- 11/5 移植医療支援室ミーティング
第73回 院内コーディネーターWG 開催